

# 社 会 教 育

# 1 社会教育事業概要

## (1) 社会教育委員の活動

第1回	5月13日(水)	平成21年度公民館職員の人事について 平成20年度社会教育・社会体育事業概要について 平成21年度事業計画・協議課題について 社会教育全般について意見交換
第2回	7月9日(木)	平成21年度社会教育・地域公民館事業について 学校支援地域本部事業・地域における家庭教育基盤形成事業・近畿地区社会教育研究大会について 社会教育全般について意見交換
第3回	10月28日(水)	京丹後市公民館連絡協議会研修会の参加について 京都府社会教育研究大会について 公民館の運営体制について 社会教育全般について意見交換
課題学習	12月1日(火)	『京丹後市公民館連絡協議会研修会』への参加 パネルディスカッション「子どもの成長を支える公民館活動」
第4回	12月18日(金)	平成21年度社会教育予算要求の概要について 地区公民館に係る検討事項について 公民館の体制及び運営に関する諮問について(別紙1) 諮問内容についての質問・意見交換
第5回	1月26日(火)	平成22年度社会教育指導の重点について 公民館の体制及び運営に関する答申について *答申の項目及び内容について意見交換
第6回	2月16日(火)	平成21年度社会教育残事業について 公民館の体制及び運営に関する答申について *答申の項目及び内容について意見交換
第7回	3月18日(木)	平成22年度社会教育事業及び予算について 公民館の体制及び運営に関する答申について *答申の項目及び内容の確認 ※中間報告(別紙2)

(別紙1)

1 社会第1693号

平成22年1月4日

京丹後市社会教育委員会議  
議長 本城昌彦 様

京丹後市教育委員会  
教育長 米田敦弘

京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方について（諮問）

上記のことにつきまして、社会教育法（昭和24年法律第207号）第17条第1項第2号の規定により下記の事項について諮問いたします。

#### 記

##### （諮問事項）

「京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方について」

- 1 地域の活性化を進めるための公民館配置のあり方について
- 2 京丹後市における公民館の推進体制について

##### （諮問理由）

京丹後市の公民館は、京丹後市の発足と同時に旧6町にそれぞれ地域公民館と小学校区単位を基本としながら地域の実態に応じて、45地区公民館及び14分館を設置しました。

京丹後市となって5年半が経過した今、学校教育では今後の新しい学校づくりに向けて、京丹後市内の学校再配置計画を策定し取り組みを進めているところであります。

このため、社会教育においても学校の再配置とあわせて、地域の拠点である公民館の設置及び運営方法を再検討するとともに、新たな京丹後市における公民館の推進体制を構築していくことが急務となってきました。

つきましては、前記諮問事項についてご審議くださいますようお願いいたします。

##### （答申時期）

平成22年3月

(別紙2)

平成22年3月31日

京丹後市教育委員会  
教育長 米田敦弘 様

京丹後市社会教育委員会議  
議長 本城昌彦

京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方について  
(中間報告)

平成22年1月4日付、1社会第1693号で諮問があった上記のことにつきまして、その審議の経過を別紙のとおり報告します。

記

(報告内容)

「地域の活性化を進めるための公民館配置のあり方について」

(審議の経過)

京丹後市では、市内の学校再配置基本計画の素案が提案され、新たな学校づくりについて取り組みが進められているところである。あわせて、同じく地域の拠点である公民館の今後のあり方について検討が必要であり、新たな公民館の運営体制の構築が急務となっている。

今回の諮問を受けて、その答申に向けて3回の社会教育委員会議を開催し、検討を進めてきたところである。検討結果を踏まえて、公民館の現状と課題及び公民館の体制及び運営のあり方について意見をまとめることができたので、別紙のとおり報告することとする。

ただし、具体的な公民館の推進体制については、学校再配置計画の進捗状況を見極める必要があるとともに、まだ地域の実態及び公民館との具体的な意見交換が不十分であるため、引き続き検討課題として協議することとしたい。

今後、学校再配置計画の進捗とあわせて、地域と公民館の実態及び公民館の抱えている課題について把握に努め、望ましい公民館の推進体制について早急に答申することとする。

## 京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方について(中間報告)

### 1 はじめに

京丹後市は、平成16年4月1日に丹後の6町が合併して発足以来、6年目に入っている。

京丹後市の公民館は、京丹後市の発足と同時に、合併した6町にそれぞれ地域公民館と地域の実態に応じて、45地区公民館及び14分館が設置された。

当初は、地域公民館はそれぞれの町域全体を対象に事業を実施していくのに対し、地区公民館はもっと生活に密着した身近な課題に取り組む活動で、住民にとってはどちらも同じ社会教育事業であるため、地域公民館と地区公民館は並列であると位置付けられてきた。

現在、京丹後市内の学校再配置基本計画の素案が提案され、これにあわせて同じく地域の拠点である公民館の今後のあり方について検討が必要であり、新たな公民館の体制の構築が急務となっている。

このため、合併以降進めてきた公民館の体制及び活動についての成果や課題を整理し、新たな公民館の体制について次のとおり整備していくこととする。

### 2 京丹後市における公民館の現状と課題

#### (1) 地域公民館の現状と課題

地域公民館は、合併当初から各町の社会教育事業を継続していく拠点として合併した各町に6地域公民館が設置された。

合併当初の地域公民館の運営体制は、各教育分室へ併設し地域公民館事業を実施されてきたが、教育分室の廃止とともに、主として地域の社会教育の拠点として事業を展開されてきた。

しかし、平成19年度からは、各地域公民館の社会体育を担当する正規職員が減員となり、社会教育を担当する正規職員が1人となったため、日常の貸館業務とともに、社会教育・公民館事業の計画立案及び事業の実施を担うなど、職員の業務負担が大きくなっている。また、職員の異動による事務事業の停滞が危惧されるため、職員のスムーズな異動ができていく状況となっている。さらに、公民館主事には社会教育の専門職員である社会教育主事の有資格者が望ましいが、各地域公民館すべてに配置されていないのが現状である。

地域公民館の施設は、3地域で専用施設がないため、公民館の本来の機能である施設を活用した住民の系統的かつ継続的な学習機会の提供及び自主的な市民の生涯学習の

場が十分に確保できないのが実態である。

## (2) 地区公民館の現状と課題

地区公民館は、ほとんど合併前の各町の体制をそのまま引き継いできたが、大宮町の分館の設置や弥栄町の新たな地区公民館の設置など、合併前から大きく変わったところもある。しかし、住民にとって公民館活動が果たす役割は変わるわけではなく、地区公民館は、住民の身近な学習や交流の拠点である。

地区公民館の設置については、住民の生活に身近な地域活動の拠点であり住民の拠り所でもある。このため、公民館と同様に地域に密着している小学校と連携した公民館活動を進めていくためには、1小学校区1地区公民館の設置が望ましいとして検討されてきた。しかし、現実には各地域の歴史的な背景もあり、集落単位の地区公民館や数集落の連合区で地区公民館を設置するなど、地区公民館の体制は合併当時のままで推移している。

また、地区公民館の運営は、条例設置された公的社会教育施設であるため、教育の機会均等の立場から、一定の基準をもとに統一的に進めていく必要があるが、地区の公民館の活動には地区の事情もあり、その役割を十分に果たす体制となっていないのが現状である。

さらに、地区公民館の体制は、ほとんどの地区公民館で専用施設はなく、職員体制も館長及び主事が非常勤での配置であるため、地区の要求課題や交流活動に工夫しながら積極的に取り組まれているが、住民の期待に十分に応えられる活動ができるような地区公民館の体制となっていないのが現状である。

## 3 京丹後市における公民館活動の推進体制

### (1) 地域公民館の推進体制

地域公民館は、それぞれの地域課題及び地域の独自性に配慮しつつ住民の多様なニーズを把握し、事業を実施していくことが必要である。同時に、公的社会教育施設として市民の学習機会の拡充を図るため、各地域公民館が地域の課題について共通の認識の上になんて連携し、広域的な事業を実施していくことも重要である。

地域公民館の運営は、当面合併前の町域単位の6地域公民館をそのまま存続し、公民館長と正規職員の公民館主事2名及び公民館嘱託職員1名、あわせて施設管理等、必要に応じて臨時職員を配置した5名程度の体制が望ましい。

また、地域公民館が地域のニーズを把握し効果的な事業を計画・運営していくためには職員だけでは限界があるため、地域公民館で実施するさまざまな事業への地域住民の参画と協力が必要であり、住民参加による事業の運営体制を構築していくことが今後の

課題であると考え。あわせて、スポーツを通じた地域の健康づくりと住民交流を促進するためには、専門職員である体育指導委員の役割は重要であるため、地域の体育指導委員を地域公民館へ配置し、地域の体育・スポーツ事業の企画及び運営を分担することが望ましい。

さらに、地域公民館の施設は、市民の社会教育を進める拠点であるため、学校再配置に伴う校舎の利用及び公共的施設の利用又は共用等を検討し、地域の拠点となる地域公民館施設を確保することが急務である。

## (2) 地区公民館の推進体制

地区公民館は、これまで小学校区を基盤とした公民館活動を進めてきたが、今後は、地域活動を中心としていく必要があり、本来公民館に求められている活動である「住みよい地域づくり」、「住民交流の促進」、「地域の教育力の向上」、「地域文化の伝承」が活動の中心となっていくことが予想される。あわせて、公的社会教育施設として設置されているため、住民の学習機会の均等を保障するための一定の共通の基準をもって事業を展開する必要がある。

地区公民館の運営は、地区の実情に合わせた生活課題の学習及び地区の住民交流を中心とした住みよい地域づくりを目指した活動であるため、地区の活性化に取り組む地区行政と連携した活動ができる体制が望ましい。このため、地区の実情に配慮した地区公民館の再配置を進め、引き続き地区から選出された公民館長及び公民館主事を配置するとともに、地区行政と一体となって自主的に運営する地区公民館の体制を整備することが必要である。

また、地区公民館の施設は、職員が非常勤であるため、ほとんどの施設が地区の集会所等へ併設されているのが現状であるが、現在進められている学校の再配置によって、体育館やグラウンドとともに校舎の活用が課題となることが予想されるため、地区の拠点として地区公民館施設への活用も有効である。

## 4 地域公民館と地区公民館の連携

地域公民館と地区公民館は、京丹後市公民館条例により設置された同等の公民館として位置づけられてきた。しかし、現実的には公民館の運営体制に大きな格差があるのが実情である。このため、地域公民館は、地区公民館の活動を効果的に進めることができるよう指導・助言及び支援することが大きな役割となっている。ただし、逆に地域公民館の事業を進める上で、地区公民館の協力が必要な場合もあるため、常に連絡・調整及び地域の実態を共有するために、引き続き地域単位及び京丹後市全体の連絡協議会を設置するとともに、組織を強化することが重要である。

## 5 公民館と関係機関との連携

### (1) 教育委員会と公民館

京丹後市の公民館は、地域公民館を中心とした町域単位の活動が中心となっている。

将来的には、総合行政としての生涯学習推進体制の整備とあわせて、その拠点施設の設置を検討していくことが必要であるが、当面は教育委員会が中央公民館的な役割をもちながら公民館の活動を支援するとともに、京丹後市公民館連絡協議会と連携し、公民館職員の研修及び交流の機会を提供していくことが教育委員会の重要な役割である。

### (2) 小学校と地区公民館

小学校は、学校教育法に定められた学校教育施設であり、また地区公民館は社会教育法に定められた社会教育施設である。どちらも地域の身近な教育施設であり、地区公民館活動を推進するためには小学校との連携・協調は重要である。このため、学校の再配置によって変わってくる小学校との関係について、本来歴史的に地区住民の拠り所となってきた小学校との関係を再構築し、新たな地域に根ざした教育活動を進めることが必要である。

### (3) 市民局と地域公民館

市民局は、地域公民館と同じく地域の拠点であり地域住民の拠り所である。このため、市民局との連携を強化し、同じ地域の窓口として地域課題の共有や拠点施設がない地域公民館との併設等、地域の活性化を進めることを共通の目標とした総合行政としての協力関係を構築していくことが望まれる。

## 6 京丹後市における公民館の運営

### (1) 京丹後市公民館の配置

地域公民館の配置は、当面現状どおり町域単位の1地域公民館を設置することが必要だと考える。これは、現在の地区公民館の組織強化と活動支援を進めるために、実態を把握している町域を基盤とした運営が望ましい。ただし、市民の学習機会の均等と広域的な住民交流を促進するため、町域を超えた地域公民館の連携・協力体制を強化することが必要である。

また、地区公民館については、住民の身近な場での活動の保障と地区の行政運営に配慮して、集落単位の分館ではなく複数の集落で構成する連合区等地区の行政基盤を基本とした地区公民館を設置することが望ましい。

公民館の運営体制は、地域公民館と地区公民館との連携及び地域の実態を共有するために、引き続き地域単位及び京丹後市全体の連絡協議会を設置するとともに運営体制を



強化することが重要である。

## (2) 公民館活動に係る経費

地域公民館の運営に係る経費は、公的社会教育施設として、引き続き各地域公民館の事業計画に基づいて積算された社会教育予算により直接執行することが効果的である。なお、事業は地域の実態に即した事業を継続するとともに、住民の学習機会の均等を図るため、すべての地域公民館で共通した課題への取り組み及び地域公民館で連携した事業を積極的に推進することが必要である。

地区公民館の経費は、地区公民館長及び地区公民館主事の報酬について地区の自主的な活動を尊重するため、現状の月額報酬を見直し、地区公民館の運営に係る一定額の年額報酬を社会教育予算で保障することとし、それ以上は地区の活動実態に即した報酬を地域で検討し支給されることが望ましい。また、地区公民館の活動にかかる経費は、地区の主体的な活動を保障するとともに、地区公民館の体制を考慮しながら一定の基準をもって引き続き活動交付金として交付することが望ましい。

また、公民館連絡協議会に係る経費は、今後の京丹後市の公民館運営に重要な役割を持つため、運営及び研修にかかる経費を確保する必要がある。

## 7 今後の方向性

京丹後市では、社会の急激な変化などによる少子・高齢化が急速に進み、地域の人間関係が希薄化してきているといわれ、今後もこの傾向は進むことは明らかであり、いわゆる限界集落が増えてくることが予想される。このため、地域の活性化を進めることは重要な課題であり、公民館活動への期待と役割は大きくなっていく。

京丹後市の公民館活動は、地域公民館と地区公民館が協力して、地域の実態に即した住民の学習や交流の機会均等に向けて、地域全体及び京丹後市全体で公民館活動を築き上げていく時期に入っていると考えられる。このため、地域の拠点となる公民館を有効に配置し、地域の活性化を図るために、身近な場での交流活動を促進し、子どもからお年寄りまでが楽しく住みよい地域づくりを進めるために、関係機関が連携・協力し、効果的な公民館体制を早急に構築することが必要である。

平成22年3月31日

京丹後市社会教育委員会議

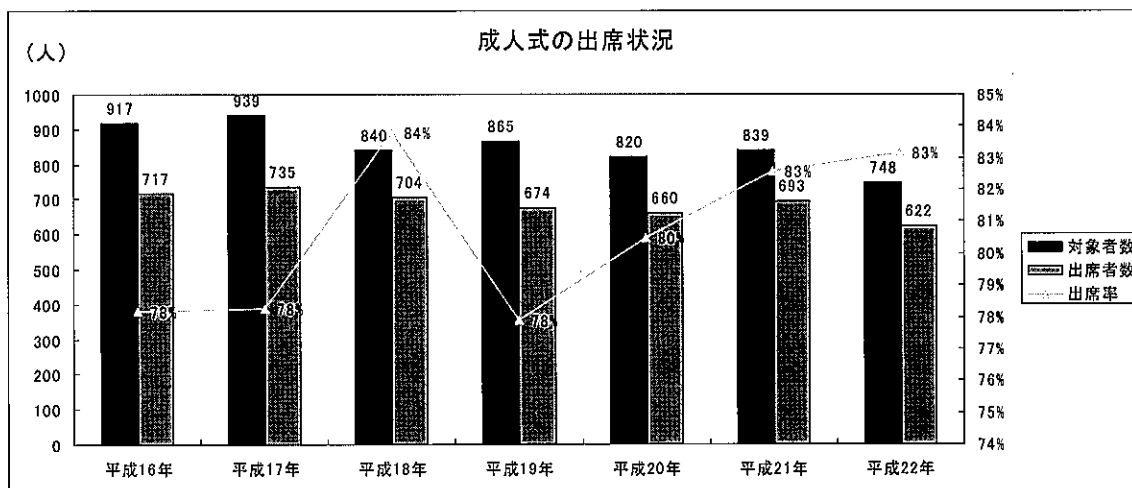
## (2) 指導員の配置

社会教育指導員 10人

社会教育課（本庁）に2人（H21.10月～1人）、峰山地域公民館に2人、久美浜地域公民館に2人（H21.10～久美浜地域公民館1人、網野地域公民館2人）、その他地域公民館には1人配置。

## (3) 成人式開催

- ・日 時：平成22年3月21日（日） 午後2時00分
- ・会 場：京都府丹後文化会館
- ・招待者：748人（男性：391人 女性：357人）
- ・出席者：622人（出席率／83%）
- ・アトラクション：丹後吹奏楽団・京丹後市少年少女合唱団協議会
- ・記念品：記念写真、新社会人応援マニュアル オトナの難易度



## (4) 青少年教育

○夏休み子ども映画会

実施日	内 容	場 所	参加
8月29日	映画「ホートン～ふしぎな世界のダレダーレ～」 (3会場で実施)	アグリセンター大宮 峰山総合福祉センター アミティ丹後	120名 100名 150名

○理科わくわく体験事業～京都工芸繊維大学連携事業～

実施日			内 容	場 所	参加
8	25	火	繊維の不思議 繊維リサイクルで環境を守ろう ～その服、もうすてちゃうの～ 京都工芸繊維大学 先端ファイプロ科学部門 繊維リサイクル技術研究センター長 教授 木村 照夫先生	峰山地域公民館	24名
8	27	木	昆虫の不思議 昆虫たちの生活の隠されたひみつ ～身近な虫たちの世界をのぞいてみよう～ 京都工芸繊維大学 准教授 齋藤 準先生		19名



【繊維廃材でハガキ作りに挑戦】



【昆虫の名前を昆虫図鑑で調査】

(5) 障害者教育

○視覚障害者研修会

- ・日 時 平成 21 年 6 月 24 日 (水) 午前 10 時 00 分～
- ・会 場 丹後海と星の見える丘公園
- ・参加者 市内在住視覚障害者、その家族、ヘルパー 42名
- ・内 容 環境学習「エコからはじまる暮らし」

株式会社アイトワ 代表取締役 森 孝之 氏

紙ひもで作る籠体験実習

○聴覚障害者研修会

- ・日 時 平成 21 年 10 月 30 日 (金) 午前 10 時 00 分～
- ・会 場 アグリセンター大宮
- ・参加者 市内在住聴覚障害者、その家族、ヘルパー 26名
- ・内 容 苔玉づくり体験実習

応急手当講習 (京丹後市消防本部職員)

## (6) 成人教育

○IT講習会 平成21年12月7日～平成22年2月12日まで

1講座(6回)×6教室

コース名	内 容	会 場	曜日	時 間	参加者数
A	パソコン入門 (ワード初級)	久美浜庁舎 会議室	月・水・金	13:30～ 15:30	15名
B	パソコン入門 (エクセル初級)	久美浜庁舎 会議室	月・水・金	19:30～ 21:30	15名
C	パソコン入門 (ワード初級)	アグリセンター大宮 視聴覚室	月・水・金	13:30～ 15:30	15名
D	パソコン入門 (エクセル初級)	アグリセンター大宮 視聴覚室	月・水・金	19:00～ 21:00	10名
E	パソコン入門 (ワード初級)	弥栄地域公民館 パソコン教室	月・水・金	13:30～ 15:30	15名
F	パソコン入門 (エクセル初級)	弥栄地域公民館 パソコン教室	月・水・金	19:30～ 21:30	15名

## (7) 高齢者教育

○高齢者人材活用事業「生涯学習ボランティア養成講座」

高齢者の優れた知識と技能を活かした地域活動を推進するため指導者の資質向上と実践活動を促進するための人材育成を目的とする。

実施日			内 容	場 所	参加
3	4	木	開講式 研修のねらいと研修内容の説明 講座① 「暮らしの学びで地域を結ぶ」 京都府立大学 教授 築山 崇先生	峰山地域公民館	20名
3	9	火	講座② 「高齢者のライフプランと生きがいづくり」 ○ 京丹後市シルバー人材センター ○ 京丹後市老人クラブ連合会		
3	11	木	講座③ 「ボランティア活動の基礎知識」 ○ ボランティア活動の心構えと基礎知識 ○ 京丹後市ボランティアセンターの取組 京丹後市社会福祉協議会 主事 森口 紀子		
3	16	火	講座④ 「ボランティア活動による活力あるまちづくり」 ○ NPO法人エコネット丹後の取組 ○ あみの読み聞かせボランティアの会の取組 ○ 京丹後市学校支援ボランティアの取組		

## (8) 家庭教育

実施日		内 容	場 所	参加
7 7	23 28	木 月	高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業 高校生と子育て支援センターを利用する幼児及びその親とのふれあい交流事業 【2回】	網野地域子育て支援センター 46名
7 7	22 29	水 水	高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業 高校生と子育て支援センターを利用する幼児及びその親とのふれあい交流事業 【2回】	大宮地域子育て支援センター 54名
8 8 8	11 17 19	火 月 水	高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業 高校生と子育て支援センターを利用する幼児及びその親とのふれあい交流事業 【3回】	久美浜地域子育て支援センター 54名
8	18	火	京丹後市PTA協議会家庭教育研修会・交流会 子育て交流会・ワークショップ 大宮家庭教育支援チーム	アグリセンター大宮 80名
12	7	月	家庭教育支援基盤形成事業 家庭教育支援子育てサポーター研修会① 「傾聴」 岩田 泰子 氏	大宮庁舎会議室 15名
3	1	月	家庭教育基盤形成事業 家庭教育支援子育てサポーター研修会② 「グループワークに際して」 阪田 啓子 氏	大宮庁舎会議室 16名



【高校生と赤ちゃんのふれあい交流】



【家庭教育研修会（子育て交流会）】

## (9) 文化芸術事業

○平成21年度京丹後市小町ろまん短歌大会〔京丹後市短歌会連絡協議会と共催〕

・日 時 平成21年11月15日（日）

・会 場 アグリセンター大宮

・内 容 沖ななも添削教室 11名

短歌大会 120名

式典、入賞作品の発表、表彰、選者による選評

・投稿者 一般の部 (456 首)

高校生の部 (336 名)、中学生の部 (313 首)、小学生の部 (421 首)

○公共ホール音楽活性化支援事業

クラシック音楽を地域において身近なものとするため、ワークショップや出前コンサートなどの地域との交流活動を実施するとともに京都府丹後文化会館でのコンサートを実施した。

アーティスト：Quartet SPRITUS【サクソフォン四重奏】

実施日			内 容	場 所	参加
6	18	木	アクティビティ① 10:45~11:45 ミニコンサート、楽器紹介、昼食交流 参加者：全校児童	大宮第三小学校音楽室	66名
6	18	木	アクティビティ② 16:20~17:20 ミニコンサート、合同演奏、演奏指導 参加者：吹奏楽部	網野中学校第1ホール	46名
6	28	土	アクティビティ③ 10:45~11:45 ミニコンサート、楽器紹介 参加者：4年生~6年生	神野小学校家庭科室	56名
6	28	土	アクティビティ④ 13:35~14:30 ミニコンサート、楽器紹介 参加者：2年生+吹奏楽部	久美浜中学校音楽室	74名
6	29	日	コンサート 「Quartet SPRITUS コンサート」	京都府丹後文化会館	350名

○本物の舞台芸術体験事業

実施日			内 容	場 所	参加
10	30	金	演劇【有限会社劇団東京芸術座】 演技・ダンス指導、共演、本公演	大宮中学校	404名
2	1	月	合唱【東京混声合唱団】 合唱指導と共演、本公演	五箇小学校	146名
2	2	火	合唱【東京混声合唱団】 合唱指導と共演、本公演 ※川上小学校の児童も鑑賞	海部小学校	150名
2	17	水	オーケストラ【京都フィルハーモニー室内合奏団】 コーラス指導と合唱、楽器体験、本公演	吉原小学校	194名
2	18	木	オーケストラ【京都フィルハーモニー室内合奏団】 コーラス指導と合唱、楽器体験、本公演	郷小学校	106名

※演劇【有限会社劇団東京芸術座】の峰山中学校での公演は、新型インフルエンザ流行による学級閉鎖等により事業を中止した。

○京丹後市文化協会活動支援

実施日			内 容	場 所	参加
7	1	水	京丹後市文化協会設立総会	峰山地域公民館	56名
10	5	月	京丹後市文化協会役員研修会（視察研修） ～豊岡市文化協会との交流会～	豊岡市民会館	31名
1	31	日	京丹後市文化協会指導者研修会 講演「今 この時代こそ ことば力」 講師：（株）プランツコーポレーション 代表取締役 武部 宏 氏	峰山地域公民館	84名
3	13 14	土 日	京丹後市総合文化祭「総合作品展」 出 展：19団体 約300点	峰山地域公民館 京都府丹後文化会館	850名
3	14	日	京丹後市総合文化祭「舞台芸能祭」 出 演：29団体 約290名 記念公演：ピアニスト 安達 朋博 氏	京都府丹後文化会館	

(10) 人権教育

○人権教育講演会の開催

実施日			内 容	場 所	参加
5	11	月	教育講演会 「世界の“暮らし”“向上”に日本はどう貢献できるか」 NHK報道局チーフ・プロデューサー 榎原 美樹 氏	アグリセンター大宮	150名
2	19	金	人権講演会 「Believe (ビリーヴ) ～親子の信頼、地域の絆～」 西居院 やんちゃ和尚 廣中 邦充 氏	アグリセンター大宮	200名

○京丹後市人権市民のつどい 2009〔市民課と共催〕

- ・日 時 平成 21 年 11 月 29 日（日） 午後 1 時 00 分
- ・会 場 アグリセンター大宮
- ・内 容 第 1 部 中学生人権作文優秀作品朗読  
第 2 部 『エスペランサ』トーク&コンサート  
テーマ：夢をあきらめないで  
講 師：エスペランサ（奥田勝彦・奥田良子夫妻）
- ・参加者 140名

## (11) 学校支援地域本部事業

文部科学省の委託事業である学校支援地域本部事業は、「学校支援ボランティア」が学校の求めに応じて子どもたちの安全確保や学習支援、部活動支援、環境整備などの支援を行い教員や地域の大人が子どもと向き合う時間を拡充するとともに、住民等の学習の成果の活用機会と学校を核とした地域の教育力の向上と活性化を図る。  
＜コーディネーターを峰山・大宮・網野地域公民館に配置 3名＞

### ○実行委員会の開催

①第1回実行委員会 平成21年7月7日（火） 10:00～11:30

- ・平成21年度京丹後市学校支援地域本部事業について、学校支援ボランティアの募集について、学校支援ボランティアの活動状況について

②第2回実行委員会 平成22年2月23日（火） 10:00～11:30

- ・平成21年度京丹後市学校支援地域本部の活動報告について
- ・平成22年度京丹後市学校支援地域本部事業の実施計画について

### ○ボランティアの登録状況について

①登録数 170人

登下校安全指導（32人）、部活動支援（32人）、学習支援（109人）、読書活動支援（38人）、環境整備（14人）、合同行事（9人）、その他（9人）

### ○広報活動について

①6月25日発行 学校支援ボランティアの募集

②2月10日発行 学校支援地域本部だより

③地域公民館報、各校「学校だより」、HP、大宮町文化祭での作品展示など

### ○活動状況について

① 峰山中学校区（平成21年度から実施）

- ・ボランティア活動実績：102件（103人）
- ・学習支援（英語活動指導支援、習字指導支援、放課後補習、体育指導支援  
総合学習支援、障害者理解学習支援、スキー指導補助）
- ・その他（親子遠足補助）



②大宮中学校区（平成 20 年度から実施）

- ・ボランティア活動実績：201 件（207 人）
- ・学習支援（音楽科指導補助、家庭科指導補助、美術科指導補助、習字学習支援、マラソン支援、放課後補習学習支援、スキー指導補助）
- ・クラブ活動支援（フラスバント指導、将棋指導、茶道指導、ものづくり指導）
- ・その他（PTAコーラス指導・コーラス伴奏、体育大会写真撮影）

③網野中学校区（平成 20 年度から実施）

- ・ボランティア活動実績：1,012 件（12,613 人）
- ・学習支援（日本語指導、総合学習支援、開放園支援）
- ・読書活動支援（朝の読み聞かせ）
- ・環境整備（敷地内の高木剪定、登下校安全指導）
- ・クラブ活動支援（バレーボール部指導、吹奏楽部指導）
- ・その他（学校行事支援）



【放課後補習支援（五箇小）】



【竹とんぼ工作指導支援（三津小）】

## (12) 「京丹後市の歌」制作事業

月 日	事業内容	備考
平成21年 4月20日	「京丹後市の歌」作詞業務完了	梅田俊作 氏
平成21年 6月30日	「京丹後市の歌」作曲完了	藤原哲也 氏
平成21年 8月 6日	「京丹後市市の花と木と歌制定委員会」 へ報告・決定	
平成21年11月21日	「合併5周年記念式典」で発表	
平成22年 2月26日	「京丹後市の歌」音源（普及・啓発用） 制作業務を委託	マイ・サウンド
平成22年 3月25日	「京丹後市の歌」音源（普及・啓発用） が完成	京丹後市児童合唱団協 議会・丹後吹奏楽団



### 京丹後市歌

詞 梅田 俊作

- 一、海青く 緑の半島 風ぞよぐ  
めぐりくる 季節のなかに いだかれて  
描く夢 色鮮やかに いつまでも  
ふるさと色は 君の原色
- 二、薄曇の 雲間に光る 海原は  
はるかなる 絹の道と 波つづき  
季節風（うらに）に ぬかるむ大地 踏みしめて  
歩いていこう 夢が道しるべ
- 三、さんさんと 天（そら）に子午線 時が往く  
世代越え 伝え守る 手から手に  
ものづくり ものがたりの 丕手箱  
はるか未来へ 君に預け物
- 四、いにしへの 歴史をたどる 丹後路は  
新しき 王国へと つづく道  
手をつなごう みんなの思いが 羅針盤  
ただひたすらに 京、丹後の 明日へ



# 京丹後市歌

作詞／梅田 俊作

作曲／藤原 哲也

♩=116

*mf*

F

F/E

Dm7

Dm7/C

B♭

Gm

G7

V

う み あ お く み ど り の は ん と う か ぜ そ よ ぐ め  
う す み あ お く み ど り の は ん と う か ぜ そ よ ぐ め  
さい すん ず さし ん の と く も ら ま に ひ か - る う な ば ら は せ  
い に さ し え の の そ ら に し - せ ん と き が ゆ く は  
い に さ し え の の そ ら に し - せ ん と き が ゆ く は

F

F/E

Dm7

Dm7/C

Gm

G7

V

ぐ り く る き せ つ の な か - に い だ か れ て え が  
る かい くな る き せ つ の な か - に い だ か れ て え が  
だ いら こし る え き き せ つ の な か - に い だ か れ て え が  
た ら し き お う こ く へ と - つ な づ く み ち て  
た ら し き お う こ く へ と - つ な づ く み ち て

B♭

Gm

Am

D7

G7

Cresc.

G7

く ゆ め い ろ あ ざ や か に い つ み まし で も て  
に し り む の る む だ かい ち の づ みる して め ば こん  
づ し り む の る む だ かい ち の づ みる して め ば こん  
つ な ろ う み の る む だ かい ち の づ みる して め ば こん

F

Am7/E

Dm

B♭

G7

F

V

ふ る さ と い ろ は き み の - げ ん し よ く  
あ る さ と い ろ は き み の - げ ん し よ く  
は る さ と い ろ は き み の - げ ん し よ く  
た る さ と い ろ は き み の - げ ん し よ く

8va